

令和2年10月29日
釧路地方気象台

雌阿寒岳の初冠雪について

本日(10月29日)、雌阿寒岳(標高1499m)の初冠雪を観測したのでお知らせします。

これは、平年(10月15日)と比べ 14日遅く、昨年(11月5日)より7日早い観測となりました。

(気象の状況)

上空1500メートル付近はおよそ1℃の気温となっている中、気圧の谷の通過に伴い、標高の高いところでは雪が降りました。

《参考》

・初冠雪の平年値	10月15日	
・昨年の初冠雪	11月 5日	
・初冠雪の最早(最も早い)	9月11日	1968年(昭和43年)
・初冠雪の最晩(最も遅い)	11月15日	2011年(平成23年)
・観測開始	1913年(大正2年)	

○初冠雪の観測について

「初冠雪」とは、夏が終わった後、気象官署から見て山頂付近が初めて積雪などで白く見えることをいいます。

雲がかかってたり、視程が悪い等の理由で、釧路地方気象台から雌阿寒岳が見えないときは初冠雪とはなりません。

問合せ先：釧路地方気象台 電話 0154-31-5110